



# 開催主旨

生産性を向上させるためには、現状の姿（実績）とあるべき姿（標準）の比較を行い、“差”に対して、的確にアクションを打つことが求められます。たとえば、計画に対して進んでいるのか、遅れているのかを正しく把握しようとする必要になります。標準時間は、作業が決められた手順通り、適正な速さで行われているかを把握するための基準となるものです。正確な管理を行う為には、正しい標準時間が設定されていることが求められます。しかし、精度の高い標準時間設定には膨大な工数がかかります。

そこで、工数をかけずに精度の高い標準時間を設定できるかが大きな課題となります。自社タイムテーブル（標準時間資料）の作成など、必要精度に応じた数パターンの課題解決に繋がる標準時間設定方法をご紹介します。ぜひ、この機会に正しい標準時間設定を行い、会社の更なるレベルアップをめざしてください。

## セミナーのポイント

- ① 標準時間の考え方と設定方法を体系的に習得することができる
- ② 実務を意識した演習により、自社で標準時間設定を行う際のヒントを得られる
- ③ 個別受注生産に対する標準時間設定の考え方と手法を習得できる

## 【持ち物】

- ・電卓
- ・パソコン (Excel2007以降のバージョンがインストールされているもの)

## 講師

(株) ME マネジメントサービス 取締役 マネジメントコンサルタント **添田 英敬 氏**

**【略歴】** 独立系システムインテグレーターにて流通業向け販売供給システム開発に携わる。会計事務所勤務後、日本インダストリアル・エンジニアリング協会（現日本生産性本部）にて、生産技術スタッフ向け研修会、現場実習、工場見学会の企画・運営、指導補助などを経験。その後、(株)ME マネジメントサービス入社。実務に精通したコンサルタントとして、業種、企業規模を問わず、国内外で精力的に活動中。原価管理、原価低減を軸に生産管理、現場改善、現場管理（自動化、デジタル化、スマート化含む）などの基本的なしくみづくりから成果に繋げる運用支援までを得意とする。

URL <https://www.mejapan.com/>

## プログラム

### 1. 標準時間の概要

標準時間の基礎を知る

- 1.1 なぜ標準時間が必要なのか
- 1.2 標準時間の用途
- 1.3 標準時間の定義と構成

世界標準の代表的な作業ペース

- 1.4 速さの基準ハイタスクとロータスク

設備・機械のあるべき姿を考える

- 1.5 設備に対する標準時間の考え方

### 2. 標準時間設定に必要なIE手法

標準時間設定に必要なIEの基礎技術を知る

- 2.1 IE（インダストリアル・エンジニアリング）とは何か？
- 2.2 直接時間研究とレイティング
- 2.3 ワークサンプリング

自社に適した標準時間の設定手法を考える

- 2.4 既定時間標準法（PTS法）
- (演習) レイティング実践

### 3. 標準時間資料の基礎と作成法

標準時間資料の基礎を知る

- 3.1 標準時間資料法の定義と特徴

標準時間資料の作成方法を習得する

- 3.2 標準時間資料の作成手順と合成法

- 3.3 分析法による標準時間資料の作成法

- 3.4 余裕率の設定

(演習) 標準時間資料を用いた標準時間の設定

### 4. 標準時間設定のポイントと活用法

パターン別に標準時間の設定法を理解する

- 4.1 ライン作業の標準時間設定法

- 4.2 機械の複数台持ち作業の標準時間設定法

- 4.3 個別受注生産品に対する標準時間設定

標準時間の活用法を理解する

- 4.4 標準時間の管理と活用法

(演習) ライン作業の標準時間設定

(演習) 機械の複数台持ち作業の標準時間設定